

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-194062

(43)Date of publication of application : 14.07.2000

(51)Int.Cl.

G03B 17/56

A45C 11/38

G03C 3/00

(21)Application number : 10-367748

(71)Applicant : HIBINO TOMOHISA

(22)Date of filing : 24.12.1998

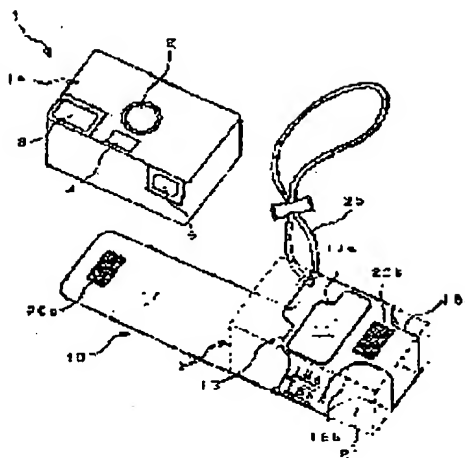
(72)Inventor : HIBINO TOMOHISA

## (54) CASE FOR CAMERA

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily manufacture the case of a disposable camera.

SOLUTION: By making largish holes pierce through a box like main body 1a in which the camera can be loaded according to the positions of a lens 2, a flash 3, a shutter 5, a lens for a finder 11 and a finder and attaching a strap 25 besides, the main body 1a can be made to cope with many kinds of cameras.



(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-194062

(P2000-194062A)

(43) 公開日 平成12年7月14日 (2000.7.14)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

識別記号

FI

キーワード(参考)

G 0 3 B 17/56

G 0 3 B 17/56

H 2 H 1 0 5

A 4 5 C 11/38

A 4 5 C 11/38

D

G 0 3 C 3/00

5 7 5

G 0 3 C 3/00

C

5 7 5 H

審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全3頁)

(21) 出願番号

特願平10-387748

(71) 出願人

587159352

(22) 出願日

平成10年12月24日 (1998.12.24)

日比野 智久

愛知県愛知郡長久手町大字岩作字城之内16-1

(72) 発明者

日比野 智久

愛知県愛知郡長久手町大字岩作字城之内16番地1

(74) 代理人

100095278

弁理士 犬飼 達彦

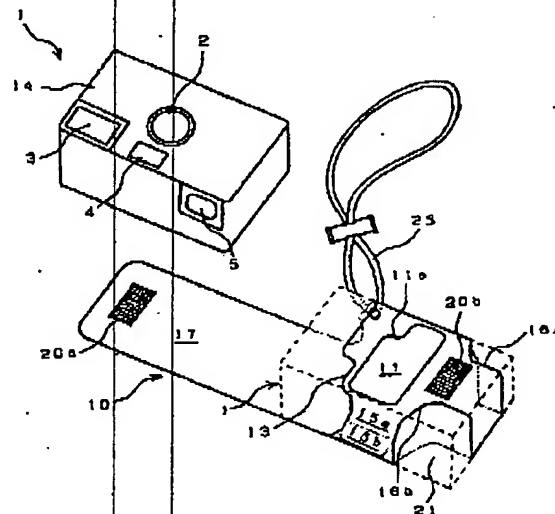
Fターム(参考) 2H105 DD06

(54) 【発明の名称】 カメラのケース

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、使い捨てカメラのケースを簡便に製作することである。

【解決手段】 本発明は、カメラを装着できる箱状の本体1aに、レンズ2、フラッシュ3、シャッター5、ファインダ用レンズ4及びファインダに対応する位置に大きめの孔を穿設し、且つ、吊り紐25を付設することによって、多種類のカメラに対応することができる。



(2)

特開2000-194062

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 カメラを装着できる箱状の本体に、レンズ、フラッシュ、シャッター、ファインダ用レンズ及びファインダに対応する位置に大きめの孔を穿設し、且つ、吊り紐を付設することを特徴とするカメラのケース。

【請求項2】 1枚のシートに前記各孔に対応する位置で切り欠き部を形成すると共に熱融着で接合して箱状に形成することを特徴とする請求項1のカメラのケース。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】本発明は、ケース等に関し、特に、使い捨てカメラのケースに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、使い捨てカメラは、本体だけで販売されていて、使用者はポケットに入れたり、ハンドバッグに入れたりして、持ち運んでいる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】そのため、撮りたいときに、カメラを持ち出すタイミング失して、撮り損なうことが生じた。そこで、本発明は、簡便に且つ多種類の使い捨てカメラを収納できるケースを提供するものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】請求項1のカメラのケースは、カメラを装着できる箱状の本体に、レンズ、フラッシュ、シャッター、ファインダ用レンズ及びファインダに対応する位置に大きめの孔を穿設し、且つ、吊り紐を付設することによって、多種類のカメラに対応することができる。又、請求項2のカメラのケースは、1枚のシートに前記各孔に対応する位置で切り欠き部を形成すると共に熱融着で接合して箱状に形成することによって、簡便に形成することができる。

【0005】

【発明の実施の形態】本発明の一実施の形態を図面を参照して説明すると、図1は使い捨てカメラとケースの全体図、図2はケースの正面図、図3はケースの背面図、図4はケースの平面図、図5はケースの裏面図、図6はケースの右側面図、図7はケースの左側面図である。又、図8はケースを作成する前の展開図である。

【0006】使い捨てカメラ1は、直方形の本体1a、レンズ2、フラッシュ3、シャッター5等で構成されており、本体1aの正面中央にはレンズ2、正面左上部にはフラッシュ3、中央上部にはファインダ用レンズ4が各々配置してある。又、カメラ本体1aの平面の右上部には、シャッター5が配置してある。

【0007】次に、前記カメラ本体1aを装着できるケース10について説明するが、ケースは種々市販されている使い捨てカメラ1に対応可能な形状に形成してあり、具体的には大きめの孔や切欠が形成してある。ケー

2

ス10は略長方形の合成樹脂シートや布等を使用し、レンズ2とファインダ用レンズ4に対応する位置で、下部11aにおいて幅狭な長方形のレンズ孔11を形成し、その両端にはケース10の側面になる余白14a、15aが形成してある。

【0008】又、カメラの底部に対応する箇所（下接合部12b）を長く形成する一方、フラッシュ3に対応する位置には切欠き部13が形成してある。そして、シャッター5に対応する位置を考慮して、凹状の上切欠部16bが形成してある一方、底部においても、上下ほぼ同じデザインとなるように凹状の下切欠部16aが形成してある。又、ファインダ（図示略）に対応して、ファインダ窓19が形成してあると共に、その右側は蓋部17を形成する。又、前記余白14a、15aに対応して、余白14b、15bが形成してあり、ケース10の側面を形成する。尚、前記各部所を切断等するためには、金型で打ち抜いて形成する。

【0009】そして、前記ケース10における、前記余白14aの上接合部12aと余白14bの下接合部を12b、及び、余白15aの上接合部18aと余白15bの下接合部を18bを折り曲げた後に合わせて熱融着するとケース10が完成し、カメラ1（破線）を収納できる（図1）。又、上切欠部16bによって、シャッター5用のシャッター窓21が形成される。蓋部17にマジックファスナ20aを取り付けると共に、そのフアスナーに対応する位置にもフアスナー20bを取り付けてあり、カメラを装着した後、その蓋部17を閉じることによって収納可能になる。尚、このマジックファスナ20aのほかに、ホックやフック等の装着具を使用してもよい。又、ケース10には、長さ調整可能な吊紐25が付設してあり、首に掛けることを可能にする。

【0010】次に、前記ケース10の使い方について説明する。なお、前記した様に、このケースは多種の使い捨てカメラに適用可能に形成してある。そして、未使用時には、カメラをケース10に装着し、蓋17を閉め、吊紐25を介して首に掛けるか、手に持つ。この状態において、カメラを使用するときには、蓋17を開けることによって、容易に被写体に向けることができる。即ち、従来、カメラを鞆等に入れたりしていることに較べると、迅速に被写体に向けることができるし、首に掛けているので邪魔にならない。

【0011】この様に、本発明のケース10を使用することによって、迅速に被写体に向けることができると共に、持ち運びが容易になる。又、このケース10は複数種の使い捨てカメラに対応させてあるので、撮り終えたカメラに替えて、他のカメラを購入しても、対応できるので経済性に富む。

【0012】

【発明の効果】請求項1のカメラのケースはレンズ等に対応する位置に大きめの孔等を穿設し、且つ、吊り紐を

(3)

特開2000-194062

付設することによって、多種類のカメラに対応することができると共に、持ち運びが容易になる。又、請求項2のカメラのケースは、1枚のシートに前記各孔に対応する位置で切り欠き部を形成すると共に熱融着で接合して箱状に形成することによって、簡単に形成することができる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】カメラとケースの全体図である。

【図2】ケースの正面図である。

【図3】ケースの背面図である。

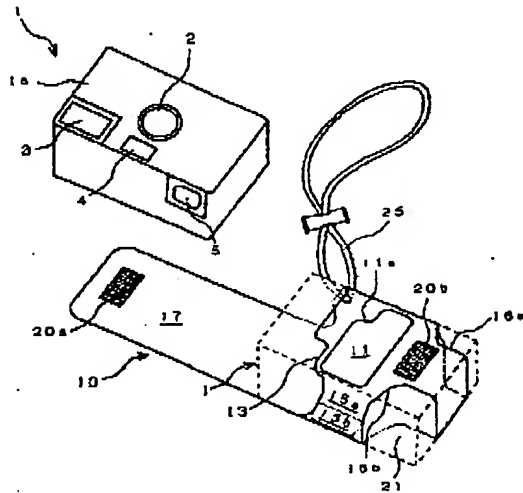
【図4】ケースの平面図である。

【図5】ケースの裏面図である。

【図6】ケースの右側面図である。

【図7】ケースの左側面図である。

【図1】



【図3】



【図6】



【図7】



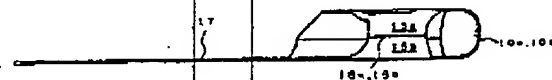
\*【図8】ケースを作成する前の展開図である。

## 【符号の説明】

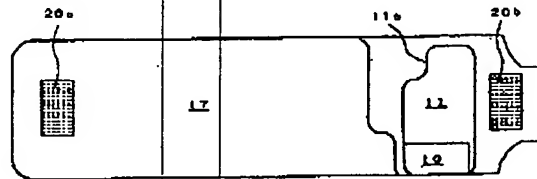
- 1 カメラ
- 2 レンズ
- 3 フラッシュ
- 5 シャッター
- 10 ケース
- 11 レンズ孔
- 13 切欠き部
- 10 16b 上切欠部
- 16a 下切欠部
- 17 蓋
- 19 ファインダー窓

\*

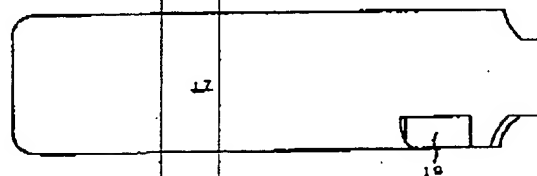
【図2】



【図4】



【図5】



【図8】

